受験番号

二〇一六年度　B日程

国語　その一

一　次の文章を読み、あとの問いに答えなさい。解答に字数の指定がある場合は、句読点やかっこなどの記号も字数として数えます。（設問の都合上、原文の表記を一部改めたところがあります。）

ペットを飼ったことがある人は、きっと思い当たるでしょう。ペットの世話をするのはとても大変ですが、世話をすればするほど、そのペットが可愛くなってきます。それは、ペットの様子がわかるからです。細かい様子がわかればわかるほど、可愛いと思う気持ちや親しい気持ちがわいてきます。

飼っている犬をいつも触ったり、話しかけたり、ながめたりしていると、犬のほうも、世話をしてくれる人に身体をすり寄せたり、尻尾を振ったり、周りを飛びはねたり、甘え声を出したり、いろんな方法で「大好き」という気持ちを示すようになります。声を出せないし、振る尻尾もないハムスターは、自分の世話をしてくれる人の声や足音をよく知っていて、立ち上がったり、耳をピクピクさせて、音を注意深く聞こうとしたりします。

反対に、最初だけ可愛がって、あとはあきてしまって、散歩にも連れて行かず、小屋の掃除もせず、食器も汚いまま放っておくと、犬もだんだんと飼い主に反応を示さなくなります。帰ってきても、寝そべったまま、上目づかいにチラッと見るだけで、ちっとも可愛い様子を見せなくなってしまいます。

飼っているペットと仲良くなると、ペットがまるで自分の気持ちを理解して、悲しいことや嫌なことがあると、同情してくれているように思われてきます。お父さんより、お母さんより、お兄さんやお姉さんより、ずっと自分の気持ちをわかってくれる、①第一の仲良しに思われることさえあります。

（　Ⅰ　）、一度も触れたこともないし、近くで見たことさえない動物なのに、その動物を自分にとってaムニの親友（比べるもののないほど親しい友達）と考える人たちがいます。そのような存在である動物のことを文化人類学では英語で「②アニマル・メイト」と言います。

アメリカ大陸には、何万年も前から住んでいる人びとの子孫がいて、「インディアン」とか「インディオ」とか呼ばれますが、これらの人びとの中には、自分が生まれると同時に、山の中や森の奥で、ジャガーや山犬の子が生まれると考えている人たちがいます。その動物とは、ペットのように一緒に暮らすわけではありません。一生のうち、見かけることも滅多にありません。それでも、それらの人びとは、一人ひとりにこうした動物、（　Ⅱ　）アニマル・メイトがいると信じています。

アニマル・メイトと人間は、同時にこの世に生まれ、同時に死ぬと信じられています。人間がbケンコウだとアニマル・メイトもケンコウだし、病気だと病気になっていると信じていますから、人間が病気になった時には、人間に薬を与え、アニマル・メイトの治療のためには、食べ物を森の神に捧げます。森の神がアニマル・メイトの病気を治してくれるからです。

ほとんどc接触することもないのに、③その人にとって自分のアニマル・メイトは大切な存在です。人間関係がうまくいかず、悩んでいる時には、自分のアニマル・メイトに、心の中でどうしたらいいのか話しかけます。一人だけ遠くにポツンとdスワっている人がいると、周りの人びとはそっとしておいてあげます。「アニマル・メイトと話しているのだ」と言って。

ある人にとってのアニマル・メイトはどのようにしてわかるのでしょうか。それは、森や山の中を歩いている時、アニマル・メイトは自ら姿をe現して「自分がお前のアニマル・メイトである」と示すそうです。そんなことを野生の動物が言うわけありませんが、その姿を見たとたん、その人には、その動物こそが自分のアニマル・メイトだとわかるのだそうです。

こうしたことは、とても奇妙なことのように私たちには思われます。でも、人間が人間だけの世界の中で、人間だけが仲間というのでは、少しばかりきゅうくつです。姿もその暮らし方もまったく違うけれども、自分と運命を共にしてくれる動物がどこかに一匹いると想像するのは、なんて素晴らしいことでしょう。滅多に会うこともなく、もしかしたら、一生に一度しか会うことのできない野生の動物、人間に近寄ることもない動物が、それでも自分と運命の糸でつながっていて、自分と一緒に生きて死んでくれるのです。そんなことを想像するだけでも、④人間同志の生活に疲れて、なにもかもが嫌になった時、「自分の周りにいる人間だけが人間のすべてではないんだ。世界にはもっといろんな人間がいるし、もしかしたら、自分のことをとてもよく知っている動物がいるかもしれない」と思うと、⑤気持ちが開けてくるかもしれません。

（　波平恵美子　『生きる力をさがす旅−子どもの文化人類学−』　）

問1　──部a〜eのカタカナは漢字に直し、漢字はその読みを答えなさい。

a　［　　］　b　［　　］

c　［　　］　d　［　　］（って）

e　［　　］（し）

問2　（　Ⅰ　）（　Ⅱ　）に入る接続詞として最も適切なものを次のア〜オから選び、それぞれ記号で答えなさい。

ア　しかし　イ　ところで　ウ　だから
エ　つまり　オ　たしかに

Ⅰ［　　］　Ⅱ［　　］

問3　──①「第一の仲良し」とありますが、ペットがとる飼い主への愛情表現として適切でないものをア〜エから一つ選び、記号で答えなさい。［　　］

ア　ハムスターが飼い主の音を聞こうとして耳をピクピクさせる行動。
イ　飼い主が帰ってきたが、上目づかいでチラリとみる行動。
ウ　飼い主が帰ってきたら、その周りを飛び跳ねる行動。
エ　飼い主が悲しい時に、同情するように寄り添う行動。

問4　──②「アニマル・メイト」とありますが、「メイト」とは、どのような意味を表していますか。最終段落から漢字二字で抜き出しなさい。［　　］［　　］

問5　──③「その人にとって自分のアニマル・メイトは大切な存在です」とありますが、なぜ大切な存在なのですか。本文中のことばを使って四十字以内で説明しなさい。

受験番号

二〇一六年度　B日程

国語　その二

問6　ペットとアニマル・メイトの共通点は何ですか。二十字以内で答えなさい。

問7　〰「とたん」とありますが、本文中と同じ意味で「とたん」ということばを使って、短文を作りなさい。ただし、文章には必ず本文とは異なる主語と述語を使用すること。

問8　――④と同じ内容を表わしている部分を、本文中から二十字以内で抜き出しなさい。

問9　――⑤とありますが、「気持ちが開けてくる」とはどのような気持ちですか。最も適切なものを次のア～オから選び、記号で答えなさい。

ア　何もかもが嫌になって投げ出したくなるような気持ち。
イ　今まで以上にペットに対して優しくしようという気持ち。
ウ　悩んでいることが馬鹿馬鹿しくなり、明るくなるような気持ち。
エ　アニマル・メイトを探し、話しかけたくなるような気持ち。
オ　疲れきった体と心をなんとかして癒そうという気持ち。

問10　本文の内容に合うものとして最も適切なものを次のア～エから選び、記号で答えなさい。

ア　犬は愛情を注いで飼っていると、体全体で「大好き」と表現してくれるが、他の動物はそのような表現はしない。
イ　文化人類学では、一生のうち一度しか見ることができない動物を「アニマル・メイト」と呼んでいる。
ウ　インディオの人々は、野生の動物を見ると、それが自分自身のアニマル・メイトかどうかを感じ取ることができる。
エ　人間と動物は常にわかり合えるとは限らないが、わかり合えたときは自らの世界が広がったときである。

二　次の文章を読み、あとの問いに答えなさい。解答に字数の指定がある場合は、句読点やかっこなどの記号も字数として数えます。（設問の都合上、原文の表記を一部改めたところがあります。）

みっちゃんは前述のように、私より一つ年下だったが、太っていて、相撲は強かった。しかし丈が低かったから、馬飛びといって、かがんだ相手の背中に、手を突いて飛び越える遊びは、丈の高い私の方が有利だった。地面に手を突いた姿勢から、だんだん高くして行って、殆んど首を曲げただけの姿勢で立っている「馬」の上を飛び越える。飛び損った子は飛び越えられるのが専門の「馬」にならなければならない。あるいは「馬」の手前にかがむ役になる。

最初は横丁の子供達が、かわりばんこに飛び越すことからはじまるこの遊びは、最後には必ず私が何人かのかがんだ子供の上を跳躍して、その先の「馬」の背中に手をついて飛び越す形になった。この場合かなりの助走を必要とし、飛んだ瞬間、体は水平に近くなるから、馬になった子供の受ける衝撃は大きくなる。

こういう形の時、①馬になれるような子供は横丁にはみっちゃんよりいない。私は（　A　）なって、この跳躍を何度も繰り返した。するとその何度目かに、私が（　B　）した瞬間、みっちゃんがひょいと背を低くしたのである。私は空を突き、向うの地べたへ腕から先に水平に（　C　）した。両肱と膝を大きく擦りむいた。みっちゃんはほかのみそっかすの子供といっしょに、どこかへ逃げてしまった。私は泣きながら家に帰った。

隣家と私の家の間にある共同の井戸端で、母に泥と血を洗って貰っていると、みっちゃんが※大正琴を弾く②お母さんに探しだされて、通りかかった。お母さんに命ぜられて、③私に謝ったが、私は許さなかった。バケツ一杯の水をざぶりとかけてやった。みっちゃんも泣き出し、かかって来ようとしたが、お母さんに引っ張って行かれた。

私には人間がこんなに④悪意があることをするとは思いも寄らなかった。私に餓鬼大将の横暴があったにしても、そんならみっちゃんは馬になるのはいやだ、といえばいいのである。決定的な瞬間に、ひょいと背をかがめて、裏切るのは卑怯だ。水ぐらいかけてやってもいい、というのが私の論理だった。もっともこの場合、私の方には、大人がそばにいて、状況が自分に有利だという甘えがあるから、あまり威張れない節もあるのだが。

私の復讐はさらに⑤奇妙な形で果たされた。※R家との間の路地に物置があって、その床下、というほどもない狭い隙間に、私は※ナマリメンの貯金を隠しておいたことは前に書いた。母の財布から盗んだ小銭の残りも入れておいたが、ある日、それが⑥そっくりなくなっていた。まもなく隣家でみっちゃんが泣き叫ぶ声が聞こえた。※せっかんを受けているらしく、声は異様な悲痛さで長く続いた。みっちゃんがメンコと金の※隠匿犯人と見なされたのはあきらかだった。私は小母さんが母に言いつけにくるのを覚悟したが、小母さんは来なかった。あくる日、床下へ手を突込んでみると、金もメンコも戻されていた。小母さんと井戸端で顔を合わせると、⑦その顔は異様な笑みをたたえていた。そこには私に対する非難はなく、自分のうちの子供が盗っ人でなかったことをよろこぶ表情だけがあった。（私が金の隠し場所を机の曳出しに変えたのはそれからである）

私はみっちゃんに会うことを避けたが、みっちゃんも何も言わなかった。これは私にしばらく罪の意識として残った。

（　大岡昇平　『少年』　）

※大正琴…琴（弦楽器）の一種。
※R家…みっちゃんの家のこと。
※ナマリメン…子どもの遊び道具。めんこの一種。
※せっかん…厳しくしかり、たたいたりすること。
※隠匿…人目につかないように、隠しておくこと。

問1　――①「みっちゃんよりいない」とありますが、なぜみっちゃんよりいないのですか。本文中のことばを使って四十字以内で説明しなさい。

受験番号

二〇一六年度　B日程

国語　その三

問２　（　A　）に適することばを次のア～エから選び、記号で答えなさい。

ア むきに　イ 得意に　ウ 飽き飽きと　エ 腹立たしく

問３　（　B　）（　C　）に適することばを次のア～エから一つ選び、それぞれ記号で答えなさい。

ア 着地　イ 助走　ウ 跳躍　エ 復讐

B

C

問４　――②「お母さん」と同一人物を指すことばを、――②を含む段落以外から抜き出しなさい。

問５　――③「私に謝ったが、私は許さなかった」とありますが、それはなぜですか。その説明として最も適切なものを次のア～エから選び、記号で答えなさい。

ア 多くの子供たちと計画し、私を仲間から追い出そうとしたことが悔しかったから。

イ 母親にみっともない姿を見られたくなかったが、みっちゃんのせいで泥と血で汚れた姿を見られてしまったから。

ウ 馬飛びに自信を持っていたが、みっちゃんのせいで二度と馬飛びができなくなってしまったから。

エ 避けようのない場面で腰を低くしケガをさせるというひきょうな行為が許せなかったから。

問６　――④「悪意があること」とありますが、それはどのようなことですか。解答欄に続くように、本文中から二十五字以内で抜き出しなさい。

こと。

問７　――⑤「奇妙な形で果たされた」とありますが、それはどういうことですか、その説明として最も適切なものを次のア～エから選びなさい。

ア 私が計画して果たそうと思っていたことが、みごとに上手くいき、これ以上ない出来になったということ。

イ みっちゃんにとって逆らうことのできない小母さんを、利用することができたということ。

ウ 私の予想もしないところで、無関係であるみっちゃんが私の隠した貯金のせいで怒られたということ。

エ みっちゃんは許すことのできない裏切りものであるが、私がそれを忘れた頃に事件が起こったということ。

問８　――⑥「そっくり」とあるが、本文中での意味として最も適切なものを次のア～エから選び、記号で答えなさい。

ア そり返る　イ 全部

ウ 少しだけ　エ とても似ている

問９　――部⑦とありますが、なぜそのような表情をしていたのですか。本文中のことばを使って四十字以内で説明しなさい。

三　次の①～④の熟語の読み方の説明として最も適切なものを次のア～エからそれぞれ選び、記号で答えなさい。また、①～④と同じ読み方をする熟語を後のA～Dからそれぞれ一つ選び、記号で答えなさい。

① 手本　② 大臣　③ 台所　④ 金物

ア 上も下も訓読みだけで読む。

イ 上も下も音読みだけで読む。

ウ 重箱読み。（上を音読みして、下を訓読みする。）

エ 湯桶読み。（上を訓読みして、下を音読みする。）

A 肉屋　B 雨具　C 兵庫　D 川下

（解答例）オ　E

①　②　③　④

四　次の①～③の――部と同じ働き（意味）のものを、後のア～ウからそれぞれ選び、記号で答えなさい。

① ふで箱の中にある定規を取り出す。

ア 神戸市内にある喫茶店で、一番コーヒーのおいしい店。

イ これが私が探し求めていた宝石の一つである。

ウ 私は先月、とある街で学生時代の友人と出会った。

② このボールペンで書くと、字がきれいに書ける。

ア 自然が豊かで美しい田園地帯を旅行する。

イ あなたの小学校では、ウサギを飼っていますか。

ウ 遠足には、奈良県へバスで行きます。

③ ケガをしているので、体育で走れない。

ア 宿題を忘れてばかりでは良くない。

イ 知らない土地を旅行するのが私の趣味です。

ウ 無我夢中で逃げたので、あの時の記憶がない。

①　②　③